

# 暴風雪と大雪に伴う被害防止対策について

気象災害対策  
平成30年1月23日  
中央普及支援センター

1月23日に金沢地方気象台から「暴風雪と高波及び大雪に関する石川県気象情報 第5号」が発表されました。

北陸地方では、27日頃にかけて強い冬型の気圧配置が続く見込みで、暴風雪、大雪に警戒が必要です。

今後、気象台が発表する気象情報や注意報・警報に留意するとともに、次の事項に注意して施設などへの被害防止に努めて下さい。

## 〔ビニールハウス〕

- (1) ハウスは筋交い、中柱等で補強する。その際、ハウスが降雪後にねじれないように補強は左右対称とする。ただし、既に降雪があり倒壊のおそれがある場合は、安全のため作業は行わない。
- (2) ハウスの隣棟間隔が狭いとき（間口の1/2以下）は、1棟おきにビニールフィルムをはずし、雪の堆積場とする。
- (3) 側壁に堆積した雪を融雪するため、側壁散水パイプを設置する。散水施設を設置できない場合は、かん水チューブを堆積した雪の上にセットできるように準備する。
- (4) ビニールのバタつきを防ぐためにハウスバンドを締め直すなど点検・整備する。また、ビニールが破損している部分は補修し、内部に風が吹き込まないようにする。

## 〔大麦〕

- (1) 融雪水による根腐れ等の湿害が起きやすいので、消雪後に排水溝の手直しや排水口への繋ぎ等の整備を行ない、速やかな排水に努める。

## 〔果樹〕

- (1) 樹体や果樹棚を支柱等で補強する。特に、粗剪定が終了していない園や主枝や亜主枝が長大化している園では、雪の重みによる枝裂けや棚の倒壊が起きやすいので対策を徹底する。
- (2) 冠雪が50cmを越えると被害が出やすいので、降雪量を見ながら着雪の払い落としを行う。

〔畜産〕

- (1) 畜舎等の施設点検を行い、老朽化等により倒壊の恐れがある場合は必要に応じて補強等を行うとともに、屋根の雪下ろしを行う。畜舎の周囲では、飼料運搬車等の車両通行を確保するための除雪に努める。
- (2) 停電等緊急時に備え、自家発電機の準備、点検を行う。また、交通の遮断等非常事態に備えて、飼料の在庫確認と購入手当を早めに行い、粗飼料なども含めて給与する飼料が急変しないよう留意する。

なお、雪害に対する被害防止対策については、気象災害対策マニュアル（平成20年3月発行）を参考にして下さい。

## 暴風雪と高波及び大雪に関する石川県気象情報 第5号

平成30年1月23日05時55分 金沢地方気象台発表

(見出し)

石川県では、23日は次第に強い冬型の気圧配置となり、27日頃にかけて強い冬型の気圧配置が続く見込みです。暴風雪、高波、大雪による交通障害に警戒してください。

(本文)

[要因]

23日には北陸地方の上空5500メートル付近には、氷点下33度以下の強い寒気が流れ込み、冬型の気圧配置が強まる見込みです。24日は更に寒気が強まり、強い冬型の気圧配置は27日頃にかけて続く見込みです。

[風の予想]

石川県では、23日朝から南西または西の風が非常に強く吹く所があるでしょう。

24日までに予想される最大風速(最大瞬間風速)は、

加賀	陸上	18メートル(30メートル)
	海上	23メートル(35メートル)
能登	陸上	18メートル(30メートル)
	海上	25メートル(35メートル)

[波の予想]

石川県の海上では、23日昼前からしけとなり、夜遅くからは大しけとなる所があるでしょう。

23日に予想される波の高さは、

加賀	6メートル
能登	6メートル

24日に予想される波の高さは、

加賀	7メートル
能登	7メートル

その後も、25日にかけて大しけとなる所があるでしょう。

[雪の予想]

24日6時までに予想される24時間降雪量は、多い所で

加賀	平地	30センチ	山地	80センチ
能登	平地	40センチ	山地	70センチ

その後も降雪が続き、24日をピークに大雪となるおそれがあります。

[防災事項]

猛吹雪や高波、大雪による交通障害に警戒してください。

落雷や竜巻などの激しい突風のおそれがあります。屋外活動に注意してください。発達した積乱雲の近づく兆しがある場合には、建物内に移動するなど、安全確保に努めてください。また、電線や樹木への着雪、なだれにも注意してください。

[特記事項]

今後、気象台の発表する警報、注意報、竜巻注意情報、気象情報等に留意してください。

[情報の発表予定]

次の「暴風雪と高波及び大雪に関する石川県気象情報」は、23日17時頃に発表する予定です。